

一般社団法人日本医療情報学会「医療情報化基盤」連続セミナーのご案内

2015年10月

我が国では、院内に閉じた電子カルテシステムから、EHR(Electronic Health Record)システムへと、着実に医療情報化基盤の構築が進んでいます。EHRは、診療データの相互運用性を有するシステムであり、医療の質の向上に資するシステムであることが求められます。急速に構築が進む臨床効果データベースや疾患レジストリーにおいては、診療データの相互運用性がカギとなっています。各地に広がる地域医療連携システムにおいても医療の質向上にどう役立つのかに焦点があたっており、病院内のデータの標準化、相互運用性の推進が求められているところです。日本は、この「診療データの相互運用性」のための標準化に早くから取り組んでおり、国際的にも診療情報の標準化基盤が進んでいます。医療情報の標準化には、医療現場でのご理解・ご協力が必須であり、人材が鍵となりますが、日本には医療情報の専門技術者である医療情報技師が、病院でも企業でも活躍しておられるという強固な基盤があり、このことが医療情報化の推進に大きく寄与していると言えます。

この重要なときにあつて、我が国の医療情報化基盤をさらに強固なものとするために、日本医療情報学会では保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)との共催により、「医療情報化基盤」連続セミナーを開催することとしました。病院現場からみた喫緊の課題を取り上げ、どう対応すべきか解説して参ります。医療情報技師の皆様、また病院、企業、行政機関等、ご関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

記

日本医療情報学会「医療情報化基盤」連続セミナー

保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS) 共催

1. 開催回数

第1回目から第4回目まで、2015年10月～2016年1月の間に毎月1回、開催致します。参加者募集は各回に行います。

2. 参加費(各回とも):

会 員: 無料 (JAMI/JAHIS 会員)
非会員: 3,000 円(消費税込み)

3. 申し込み方法: 募集開始後、医療情報学会ホームページから各回の参加登録ができます。

4. 医療情報技師更新ポイント: 各回 3 ポイント付与

※一部に変更が生じる場合もありますこと、あらかじめご了承ください。

第1回 医療情報化基盤セミナー「病院情報システム・電子カルテシステムと医療情報標準」

日 時 2015年10月26日(月) 18:30 - 21:30

会 場 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 141教室

1. 診療情報の活用・臨床データベース/レジストリー構築の急展開 (40分)

岡田美保子 (川崎医療福祉大学医療情報学科)

2. 診療情報標準化のいま -医療現場の視点から (50分)

豊田 建 (株式会社HCI)

休憩 10分

3. 病院情報システムで ISO 27931 (HL7 V2)はどこでどのように使われているのか

3.1 HL7 V2.5 (JAHIS 臨床検査交換規約)の見方 (40分)

3.2 患者基本情報・臨床検査・処方 - 病院情報システムから SS-MIX2 へ (40分)

星本 弘之 (筑波大学附属病院医療情報部)

第2回 医療情報化基盤セミナー「病院現場における標準化の喫緊の課題」

日 時 2015年11月25日(水) 18:30 - 21:30

会 場 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 131教室

1. 病院現場における標準化の喫緊の課題

- 多施設間の情報統合・解析時代がすでに始まった! (45分)

中島 直樹 (九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター)

2. 医薬品に関する情報の標準化 - 医療施設では何をどうすればよい? (45分)

土屋 文人 (一般社団法人日本病院薬剤師会)

休憩 10分

3. 臨床検査データの情報化 - 医療施設では何をどうすればよい? (80分)

康 東天 (九州大学医学研究院臨床検査医学分野)

第3回 医療情報化基盤セミナー「我が国の診療情報標準化基盤」

日 時 2015年12月19日(土) 14:00 - 17:00

会 場 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 133, 134 教室

1. 診療情報関係の主な国際規格 - それぞれの位置づけと実際 (45分)
ISO 27931 (HL7 V2)、ISO 27932 (HL7 CDAR2)、ISO 10781 (HL7 EHR-S Functional Model R2)、
ISO 13606 Part 1~Part 5

稲岡 則子 (日本医療情報学会国際委員会幹事)

2. 電子カルテシステムと臨床研究・臨床試験 - SS-MIX2、CDISC (45分)

竹之内 喜代輝 (公益法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター、
CDISC Board of Directors)

休憩 10分

3. 医療現場と CDAR2 - 診療ドキュメント交換、診療情報提供書、サマリ (40分)

平井 正明 (日本光電)

4. 我が国の診療情報標準化基盤 - 臨床的・技術的・社会的・倫理的観点から (40分)

山本 隆一 (東京大学大学院/一般財団法人医療情報システム開発センター)

第4回 医療情報化基盤セミナー

「病院情報システムにおける画像情報と地域での画像連携」

- これだけは知っておきたい標準規格 -

日 時 2016年1月25日(月) 18:30 - 21:30

会 場 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 141 教室

1. 院内および地域の画像情報連携に必要な標準 - DICOM と IHE-PDI (55分)

谷川 琢海 (旭川医科大学)

2. 放射線領域の標準マスタ JJ1017 実装の勘所 (55分)

坂本 博 (東北大学病院)

休憩 10分

3. 外部からの画像と関連情報をどこに格納しますか? - SS-MIX 拡張ストレージの使い方 (60分)

木村 通男 (浜松医科大学)